

2. 滝野の自然（4月22日）

五十嵐 博

滝野すずらん丘陵公園は、昭和58年に開園して今年で7年目になる、道内では唯一の国営公園です。全国には計画中を含めて15ヶ所の国営公園があり、武蔵丘陵森林公園や昭和記念公園、沖縄海洋博覧会記念公園などが有名です。滝野公園は面積約400haのうち92haが開園（約23%）しています。敷地には厚別川が流れ、鱒見の滝やアシリベツの滝、不老の滝、白帆の滝の4つの滝があります。

現在開園しているのは、溪流ゾーンといい厚別川ぞいの部分です。

当社は昭和61年の春から、自然関係の調査を公園を管理している財団から依頼され2年間植物や動物の目録づくりや自然観察会の企画などをおこないました。その後も自然観察会の企画に携わり、今年度は年間10回の観察会を行う予定です。全体を滝野自然ウォッチングと名づけ、春、夏、秋の3回、原松次先生に植物教室をお願いし、夏には札幌市青少年科学館のかたに星座の観察会を、その他の企画としてはバードウォッチングやクイズ

形式の観察会、昆虫ウォッチングや冬の足跡や冬芽の観察会などを野生生物情報センターにお願いしています。滝野は野幌や西岡などの公園と比べると、専門家の調査があまりおこなわれておらず、当社で調査したときも、予算などの関係から十分な調査ができなかったので、特に昆虫ですが、これらをカバーするためあって、昆虫の観察会を2回やっています。

植物は原先生に見ていただいているので自生種の数も400種を越えています。滝野の主な景色（2つの滝）と春から秋の植物のスライド36枚程を見ていただきます。

今年もこの原稿を書く時期になると観察会もほとんど終り、滝野の目録の整理の季節です。原先生の観察会では7種の新種が記録されたし、昆虫は15種の新種が記録できました。

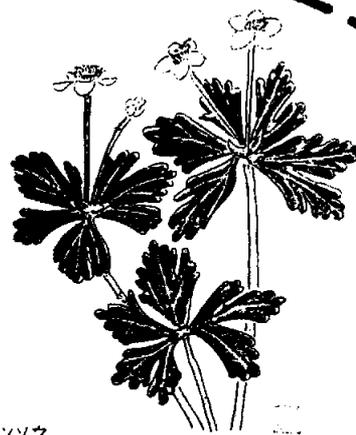
約4年間の滝野との付き合いの中で、印象に残った植物というと、サワギク（ポロギク）……鱒見の滝の途中かの右斜面に多い。

キオン……………アシリベツの滝の途中右側
クシロワチガイソウ…白帆の滝付近

（現在は入れない）

などで、新年度は崖部の調査をしてみたいとおもっています。

ニリンソウ、二輪咲くから二輪草
 簡単明瞭ないい名前である。
 四月の末「岩垂さんは足が不自由になったから
 出掛けられないだろう」と言って、山友だちが花
 の野草をいろいろたくさんとどけて下さった。
 うれしいプレゼント!!
 うちエゾエンゴサク、キバナノアマナ、ニ
 リンソウなどをコップに挿してホームの食堂に
 展示したら、皆んなよろこんで寄って来た。
 そして、ニリンソウが人気一番であった。
 白いつぶらな花がお気に召したのだらう
 そこで早速ニリンソウをスケッチした。
 「草木スケッチ一九八九
 岩垂悟」より



ニリンソウ
Arenaria flaccida

MAY 1987

岩垂先生コーナー